

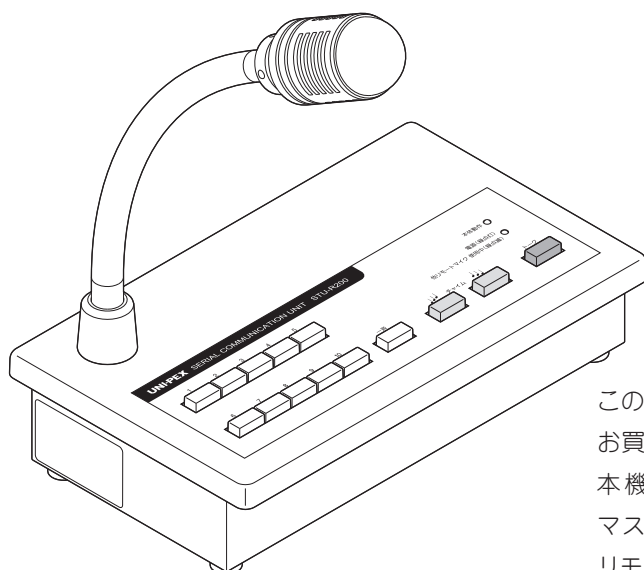
UNI-PEX

取扱説明書 (保証書付)

10回線用

リモートマイク形 シリアル通信ユニット

STU-R200



このたびは、リモートマイク形シリアル通信ユニットをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本機は、シリアル通信ユニットSTU-E200（以下、マスターユニット）と組み合わせて使用する省線式リモートマイクシステムです。

目次

安全上のご注意	1～4	マスターユニットとの接続のしかた	14、15
特長	5	回線数の増設のしかた	15
各部の名称と説明	6、7	壁面への取り付けのしかた	16
マイク放送のしかた	8	点検方法	17
外部機器の放送のしかた	9	定格	18
機器の設定	10、11	外観寸法図	19
複数台接続時の放送について	12、13	サポートのご案内/保証書	20

安全上のご注意

必ずお守りください

- ご使用前に必ず、この取扱説明書の「安全上のご注意」と取扱方法に関する説明をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、必ず保存してください。

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解いただいたうえで、本文をお読みください。

絵表示の例



△記号は注意(危険・警告)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

異常が起きたときは、ただちに使用をやめ、販売店などに連絡する

煙が出ている、においや音がする、水や異物が入った、落として破損したなど、火災・感電の原因となります。ただちにコード類を本機から抜き、ACアダプターをコンセントから抜いて、販売店などにご連絡ください。



工事は工事店に依頼する

工事には、技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。工事店にご相談ください。



分解／改造はしない

火災や感電の原因となります。修理や点検は、販売店などにご依頼ください。



異物を入れない

水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。ただちにコード類を本機から抜き、ACアダプターをコンセントから抜いて、販売店などにご連絡ください。



定期点検を実施する

専門の業者（技術者）による定期点検を実施してください。特に経年劣化には充分ご注意ください。異常があれば、ただちに使用をやめ、販売店などにご連絡ください。



表示された電源電圧以外の電圧で使用しない

火災や感電の原因となります。



雷が鳴り出したら、機器、コード類、ACアダプターに触れない

感電の原因となります。



この機器の上に花瓶など水の入ったものを置かない

こぼれたり中に水が入った場合、火災や感電の原因となります。



この機器の上でろうそく等の炎が発生しているものを置かない

火災の原因となります。



コード類を傷つけない

コードの上に重いものをのせたり、無理に曲げたり、ねじったり、引張ったり、熱器具に近づけたりすると、火災や感電の原因となります。コードが傷んだら（芯線の露出、断線）、販売店などに交換をご依頼ください。



ACアダプターのプラグに付着したほこりなどは定期的に取り除く

プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。定期的にACアダプターを抜き、乾いた布などで拭きとってください。



ACアダプターのプラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。傷んだプラグや、ゆるんだコンセントは使用しないでください。



ACアダプターをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らない

コードが傷つき、火災や感電の原因となります。ACアダプター本体を持って抜いてください。



不安定な場所に置かない

落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



重量に耐える取り付け、設置をする

取り付け、設置の場所や方法が不適切な場合、落下や転倒などでけがの原因となります。取り付けは販売店に依頼してください。



湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たるような場所に置かない

火災や感電の原因となることがあります。



水滴のかかる場所に置かない

中に水が入った場合、火災や感電の原因となることがあります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。



指定のACアダプター以外は使わない

火災やけがの原因となることがあります。





注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

お手入れの際は、コード類を本機から抜き、ACアダプターをコンセントから抜く

感電の原因となることがあります。



プラグを
コンセントから
抜け

長期間使用しないときは、コード類を本機から抜き、ACアダプターをコンセントから抜く

火災の原因となることがあります。



プラグを
コンセントから
抜け

本機をコンセントの近くに置いて使用する

万一の事故防止のため、すぐにコンセントからACアダプターを抜けるようにして使用してください。



濡れた手で、コード類やACアダプターを抜き差ししない

感電の原因となります。



異常に温度が高くなる場所に放置しない

窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所などの異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。
火災の原因となることがあります。



移動するときは、コード類を傷つけない

移動させる場合は、コード類を本機から抜き、ACアダプターをコンセントから抜いてください。
コード類が傷つき、火災や感電の原因となることがあります。



プラグを
コンセントから
抜け

ACアダプターが宙に浮かないようにする

プラグが抜けたり、コードやプラグを傷めたりして、故障の原因となることがあります。



この機器に乗ったり、ぶらさがったり、足場代わりにしない

特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。



通信端子にハブやパソコン並びにPoE対応機種を接続しない

ハブやパソコン並びにPoE対応機種を接続しますと破損・焼損する恐れがあります。



廃棄は専門業者に依頼する

燃やすと化学物質などで目を傷めたり、火災ややけどの原因となります。



外部入力ジャックに機器を接続する場合は、電源を切り、各々の機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。



1年に1回程度は、内部の掃除を工事店などにご相談ください。

内部にほこりのたまった状態で長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。

特に湿気の多くなる梅雨時の前に行うと、より効果的です。なお掃除費用については、工事店などにご相談ください。



設置・使用上のご注意

- 次のような場所では使用しないでください。誤動作、故障、漏電の原因になります。
 - ・ 屋外などの雨や日光に直接当たる場所／結露が生じる場所／亜硫酸ガスやアンモニアなどの腐食性ガスが発生する場所／激しい振動や衝撃が発生する場所。
- 本機を雑音発生の原因になる機器※の近くには設置しないでください。
 - ※ 高周波機器(乾燥機、医療機器など)、電気溶接機、ブラッシングモーター、自動車の通る道、携帯電話機、デジタル機器(コンピューター、電子楽器など)、空気清浄器。
- 入力線と出力線(スピーカー出力など)は、近づけますと発振する恐れがあります。できるだけ離して配線してください。
- 屋外の架空配線や強電線との平行配線をしますと外来の雑音やサージ電圧の影響を受けやすく、ノイズの混入や故障の原因となります。
 - 屋外では、金属管等による地中配線を行い強電線からは離して配線してください。

遮断装置について

- 本機には電源スイッチがありませんので、電源を遮断するときは、LANケーブルを通信端子から抜いてください。
- ACアダプターを使用している場合は、LANケーブルに加えて、ACアダプターも端子から抜く必要があります。

免責事項について

当社は下記の事項に関して一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- ① お客さまの故意、過失、誤用、その他異常な条件下での使用による損害または本製品の破損など
- ② 本製品に直接または間接に関連して生じた、偶発的、特殊的、または結果的損害・被害
- ③ 本製品のお客さまご自身による修理、分解または改造が行なわれた場合、それに起因するかどうかを問わず、発生した一切の故障または不具合により生じた損害
- ④ 本製品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、使用ができないことなどによる不便・損害・被害
- ⑤ 第三者の機器と組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害

本機を長期間お使いの場合

本機を安全に使用していただくために、販売店または工事業者による定期的な点検をおすすめします。

外観上は異常がなくても、使用条件によっては部品が著しく劣化している可能性があり故障したり、事故の原因となることがあります。下記①～④の様な状態ではないか日常的に確認してください。もしその様な状態を発見されましたら直ちに電源を切り(使用中止)、販売店または工事業者に点検や撤去をご依頼ください。

特に10年を超えて使用されている場合は、定期点検の回数を増やしていただくとともに買い換えの検討をお願いします。

- ① 煙が出たり、こげ臭いにおいや異常な音がしている。
- ② LANケーブルや、ACアダプターのコード・プラグ・本体が異常に熱い。または亀裂や傷がある。
- ③ 本機に触れるとビリビリと電気を感じる。
- ④ 電源を入れても音が出てこない、その他の異常・故障がある。

特 長

- 10回線の回線選択スイッチを装備した省線式リモートマイクです。
マスターユニットと接続し、マイク放送等を行います。
- 回線増設用ケーブルSTU-Z10を使用し、リモートマイク増設用RMZ-110を本機に接続することで、最大20回線まで対応します。
- 音声信号・制御信号・電源※をLANケーブル1本で接続することができるので、省線化が可能です。
※条件があります。14頁「適合ケーブルと配線距離」をご覧ください。
- リモートマイク間で放送の優先設定が可能です。
- 他のリモートマイクが放送中かどうかを、表示灯で確認できます。
- マイク放送、外部入力の音量を、後面の音量調節つまみで、個別に調節することができます。
- マイク放送およびチャイム鳴動時、外部入力の音量を減衰させることができます（マスターユニット側の設定で減衰させないこともできます）。
- ACアダプター（付属）を使用することで、配線可能距離を延ばすことができます。

各部の名称と説明

■天面

本体動作表示灯

ラック形業務用放送設備（またはラック形非常用放送設備）が動作しているとき、緑点灯します。

※ マスターユニットと放送設備側で、本体動作表示制御端子が接続されている必要があります。詳細は、マスターユニットの取扱説明書をご覧ください。

電源／他リモートマイク使用中表示灯

本機に電源が供給されている時、緑点灯します。次の状態の時は、点滅します。

緑点滅：他のリモートマイクが放送中です。

赤点滅：エラーが起きています。

17頁「点検方法」をご覧ください。

フレキシブルマイク

マイクの方角を変えることができます。

トークスイッチ

スイッチを押している間、マイク放送が行えます。

チャイム下り (B) スイッチ

チャイムを鳴らします※。

チャイム上り (A) スイッチ

チャイムを鳴らします※。

※ マスターユニットにエレクトロチャイムユニットEC-44が組み込まれている場合、および放送設備側のチャイム起動端子とマスターユニットが接続されている場合のみ

回線選択スイッチ (1～10)

放送先を個別に選択します。

一斉スイッチ

一斉放送を行います。

※ 一斉放送時に選択される放送先は、設定によって異なります。

詳細は、マスターユニットの取扱説明書をご覧ください。

■後面

回線増設端子 (11~20)

10回線増設用の端子です。
15頁「回線数の増設のしかた」をご覧ください。

コードクランプ

コード類を束ねることができます。

ACアダプター入力端子

マスターユニットとの接続距離が長くなる場合、ACアダプター（付属）を接続してください。
14頁「マスターユニットとの接続のしかた」をご覧ください。

通信端子

マスターユニットの通信端子と接続してください。
※マスターユニット以外の機器は接続しないでください。

設定スイッチ

本機の設定を行います。
10、11頁「機器の設定」をご覧ください。

マイク音量調節つまみ

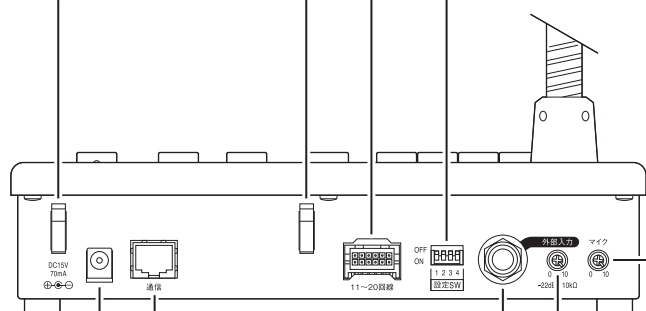
マイク放送の音量を調節します。
（出荷時：最大）

外部入力音量調節つまみ

外部入力の音量を調節します。
（出荷時：最大）

外部入力ジャック

(-22dBV 10k Ω 不平衡 モノラル)
CDプレーヤーなどのライン入力専用の外部入力ジャックです。



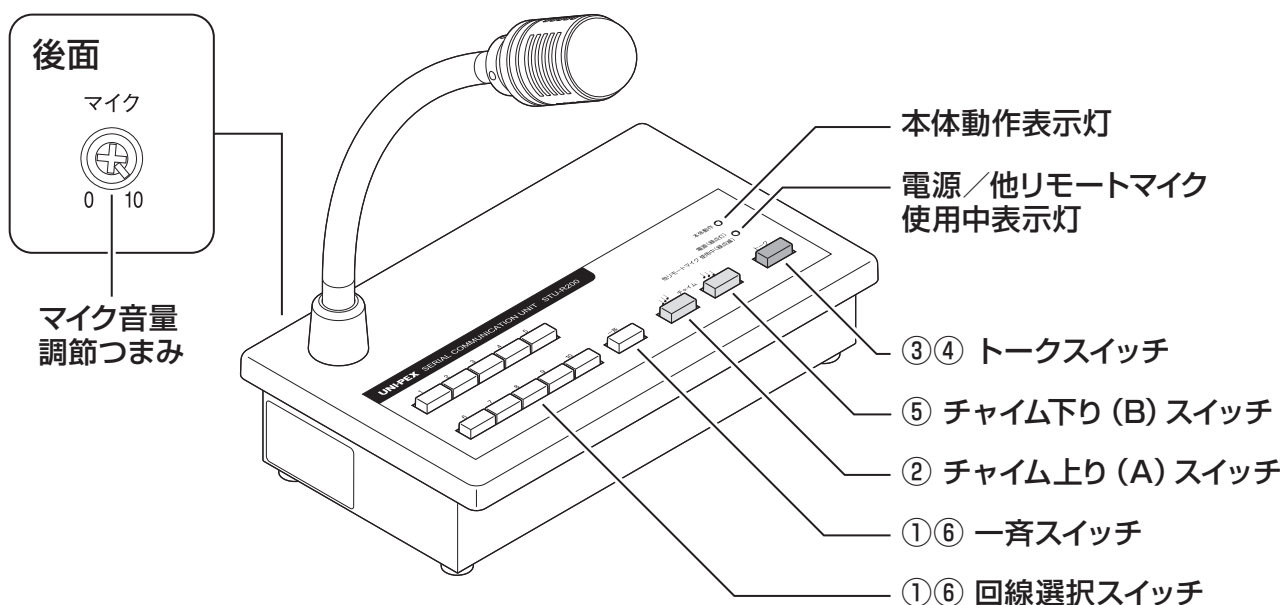
マイク放送のしかた

- 本機のフレキシブルマイクから放送を行うことができます。
- 後面のマイク音量調節つまみで、マイク放送の音量を調節することができます。

※チャイムの音量は変わりません(チャイム音量については、チャイム搭載機器の取扱説明書をご覧ください)。

ご注意

- 電源／他リモートマイク使用中表示灯が緑点減している場合、他のリモートマイクが放送中です。
- 本機が回線選択を行うと、現在の放送が中断され、本機からの放送に切り換わりますので、ご注意ください。
- ※優先設定によっては、他のリモートマイクの放送が継続されます(10 頁「優先順位の設定」をご覧ください)。



- ① 回線選択スイッチまたは一斉スイッチを押して、放送先を選択する。

- ② チャイム上り(A)スイッチを押し、上りチャイムを鳴らす。



チャイムが鳴り終わったら

- ③ トークスイッチを押し続けながら、マイク放送をする。



マイク放送が*終わったら

- ④ トークスイッチを離す。

- ⑤ チャイム下り(B)スイッチを押し、下りチャイムを鳴らす。



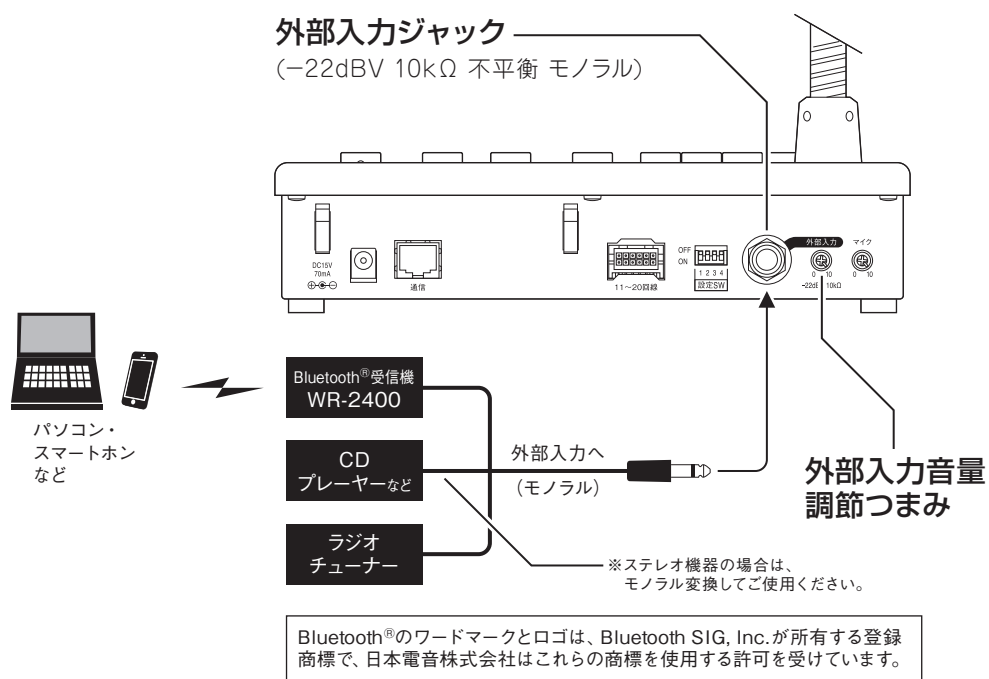
チャイムが鳴り終わったら

- ⑥ ①で選択したスイッチを再度押して、放送先の選択を解除する。

チャイム機能を持つ機器が
接続されている場合のみ

外部機器の放送のしかた

- 本機の外部入力には、音楽プレーヤー、ラジオチューナーなどの外部機器を1台、モノラル接続することができます。
- 後面の外部入力音量調節つまみで、音量を調節することができます。



- ① 回線選択スイッチまたは一斉スイッチを押して、放送先を選択する。
- ② 外部の音源機器を再生し、放送する。

↓ 放送が終わったら

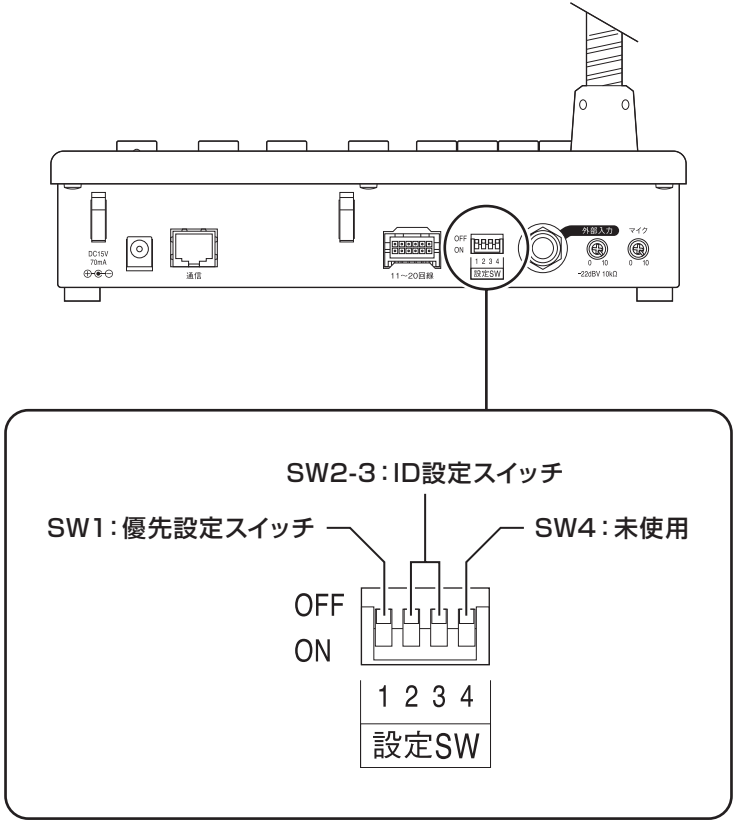
- ③ ①で選択したスイッチを再度押して、放送先の選択を解除する。

ご注意

- 出荷時の設定では、マイク放送中やチャイム鳴動中は、そのリモートマイクの外部入力に接続された音源機器の音量が自動的に減衰します。
音量を減衰させたくない時は、マスターユニット側で設定を変更してください（マスターユニットの取扱説明書「外部入力フェーダー機能の設定」をご覧ください）。
- 外部機器の放送を行っているリモートマイクから他のリモートマイクに放送が切り換わった場合、外部入力機器の放送も中断されます。

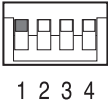
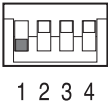
機器の設定

●使用方法に応じて設定をおこなってください。



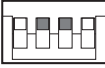
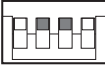
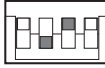
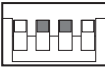
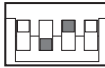
優先順位の設定(SW1)

- 複数台が回線選択した場合の、放送の優先順位を設定します。
- 具体的な動作については、12 頁「複数台接続時の放送について(回線選択 / 解除時の動作)」をご覧ください。
- 出荷時の設定は「後押し優先」です。

優先設定		説明
後押し優先 (出荷時)	OFF ON  1 2 3 4 SW1: OFF	後から回線選択したりリモートマイクの放送が優先されます。 ただし、「最優先」のリモートマイクが放送中の場合は、放送 できません。
最優先	OFF ON  1 2 3 4 SW1: ON	この設定にしたリモートマイクの放送が、最も優先されます。 ※「最優先」のリモートマイクが複数台ある場合は、ID 設定 番号の小さいリモートマイクの優先度が高くなります。

■ID 設定(SW2-3)

- リモートマイクの接続台数に応じて、それぞれの ID 設定が必要です。
- 出荷時の設定は「ID 1」です
- マスターユニット側も、リモートマイクの接続台数に応じた設定が必要です。
詳細は、マスターユニットの取扱説明書をご覧ください。

リモートマイク 接続台数	1台目の設定 (ID 1) (出荷時)	2台目の設定 (ID 2)	3台目の設定 (ID 3)
1台	OFF ON  SW2: OFF SW3: OFF 1 2 3 4		
2台	OFF ON  SW2: OFF SW3: OFF 1 2 3 4	OFF ON  SW2: ON SW3: OFF 1 2 3 4	
3台	OFF ON  SW2: OFF SW3: OFF 1 2 3 4	OFF ON  SW2: ON SW3: OFF 1 2 3 4	OFF ON  SW2: OFF SW3: ON 1 2 3 4

ご注意

- 本機を複数台使用する場合、各機の ID が重複すると、エラーとなり動作しません。

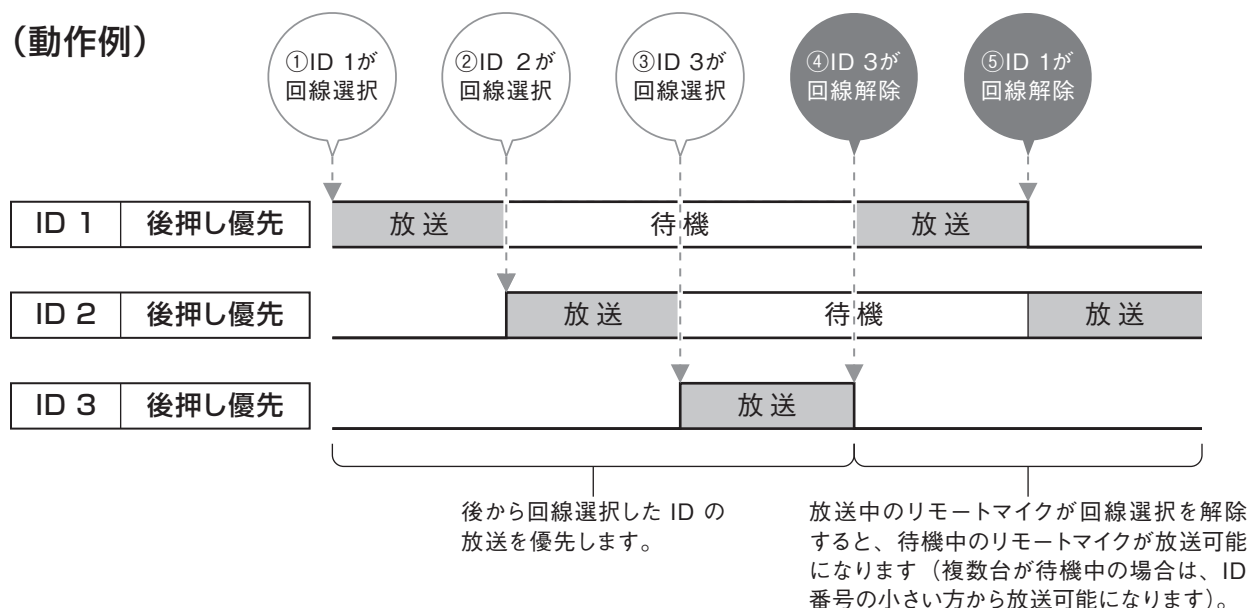
複数台接続時の放送について（回線選択/解除時の動作）

- 本システムは、複数台のリモートマイクが同時に放送することはできません。
- 複数台のリモートマイクが回線選択した場合の動作は、各機の優先設定によって異なります。
下記動作例を参考に、運用方法に適した設定を行ってください。

①優先順位をつけない場合

- 全て「後押し優先」設定にします。
- 複数台が回線選択した場合は、最後に回線選択した方の放送を優先します。
どのリモートマイクも、他のリモートマイクが放送中に割り込み可能です。

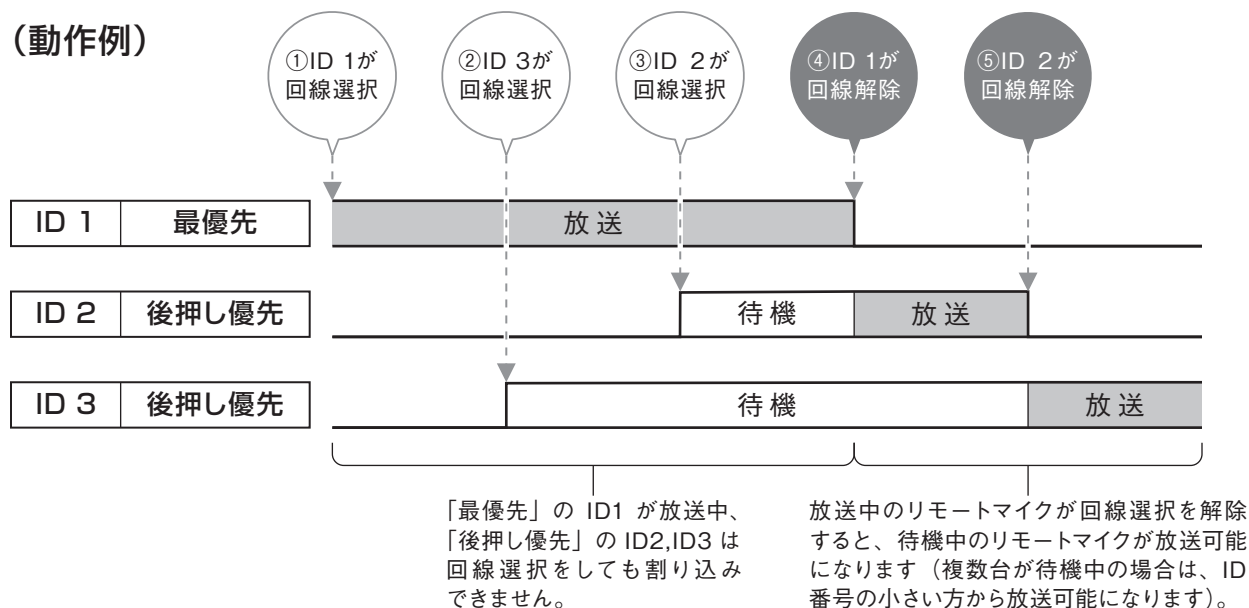
（動作例）



②他よりも優先度の高いリモートマイクを 1 台設ける場合（例：緊急放送用など）

- 対象の 1 台のみ「最優先」設定にします。
- 「最優先」のリモートマイクが放送中、「後押し優先」のリモートマイクは回線選択しても放送できません。
「後押し優先」同士の間では、最後に回線選択した方の放送を優先します。

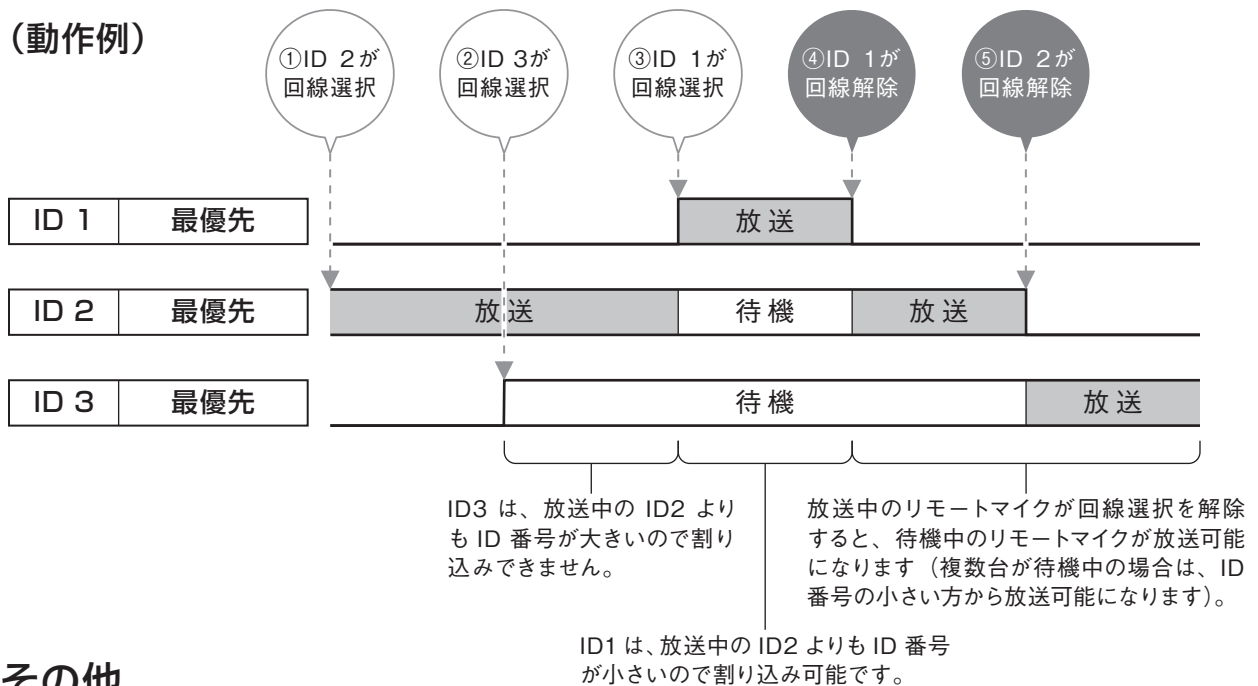
（動作例）



③ ID 番号に応じて個々に優先順位をつける場合(優先順位 ID1>ID2>ID3)

- 全て「最優先」設定にします(優先度の高い順に、ID 番号を ID1、ID2、ID3 に設定します)。
- 「最優先」同士の場合は、ID 番号が小さい方の放送を優先します。
自機より ID 番号が大きい方からの割り込みは、受け付けません。

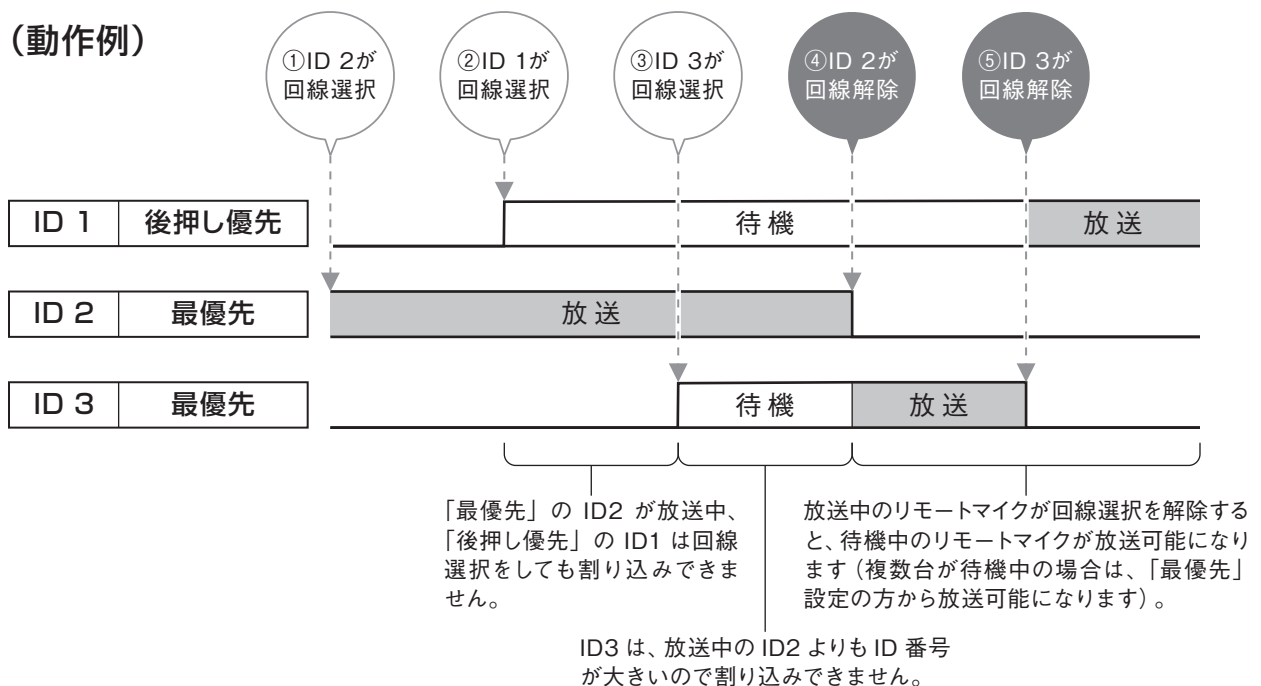
(動作例)



④ その他

- 1 台のみ「後押し優先」、残りを「最優先」設定にします。
- 「最優先」のリモートマイクが放送中、「後押し優先」のリモートマイクは回線選択しても放送できません。
「最優先」同士の間では、ID 番号の小さい方の放送を優先します。

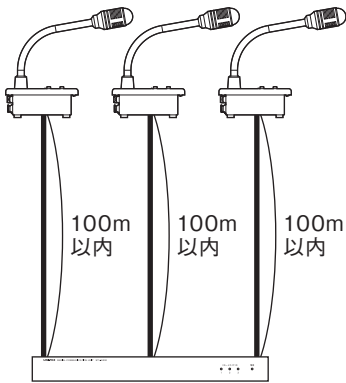
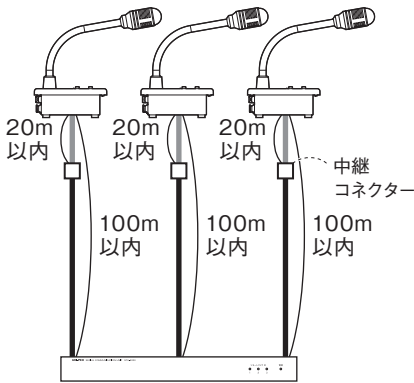
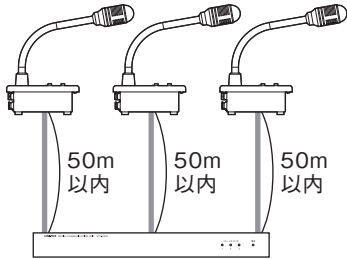
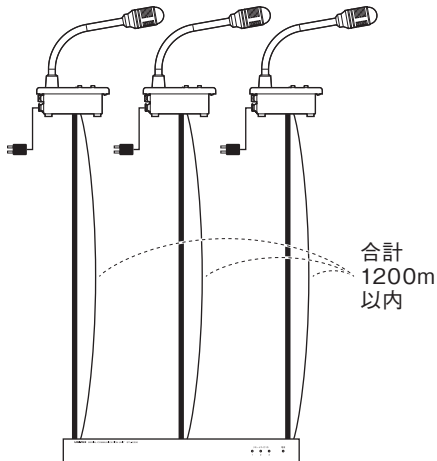
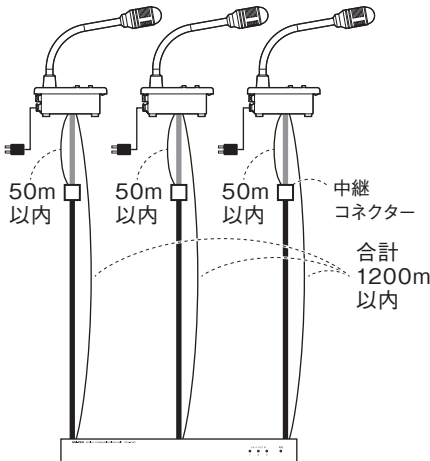
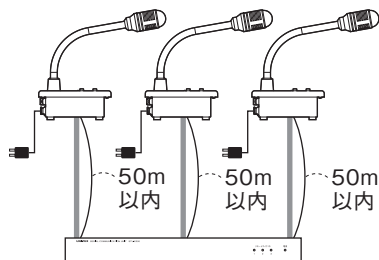
(動作例)



マスターユニットとの接続のしかた

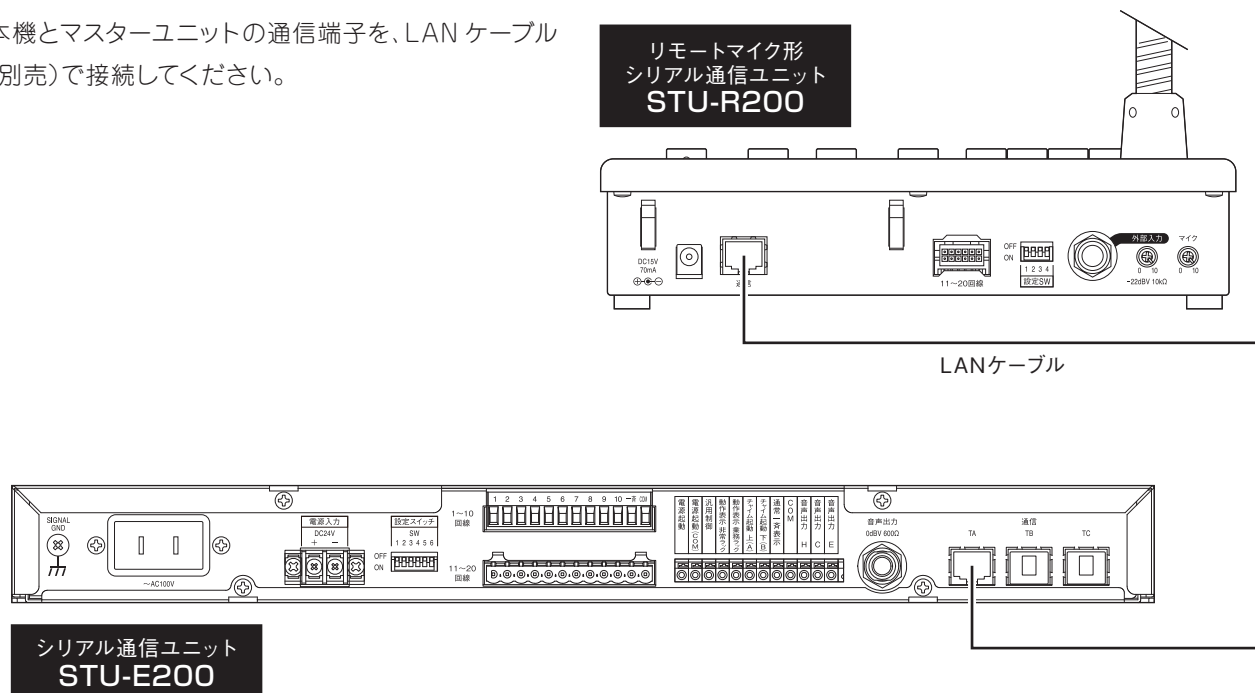
■適合ケーブルと配線距離

- マスターユニットと接続するLANケーブルは、CAT5e 以上のストレートタイプをお使いください。
- LANケーブルの形状（スタンダード、フラット）によっても、配線可能な距離が変わります。
- マスターユニットとの接続距離が長くなる場合や、ノイズの影響を受ける場合は、付属のACアダプターを接続してください。

LANケーブル形状			
	スタンダードケーブルのみ	スタンダードケーブル ＋ フラットケーブル	フラットケーブルのみ
ACアダプターなし	1回線あたり100m以内。 	1回線あたり100m以内。 その内、フラットケーブルは 20m以内。 	1回線あたり50m以内。 
	全回線の合計が1200m以内。 	全回線の合計が1200m以内。 その内、フラットケーブルは 1回線あたり50m以内。 	1回線あたり50m以内。 
ACアダプターあり			

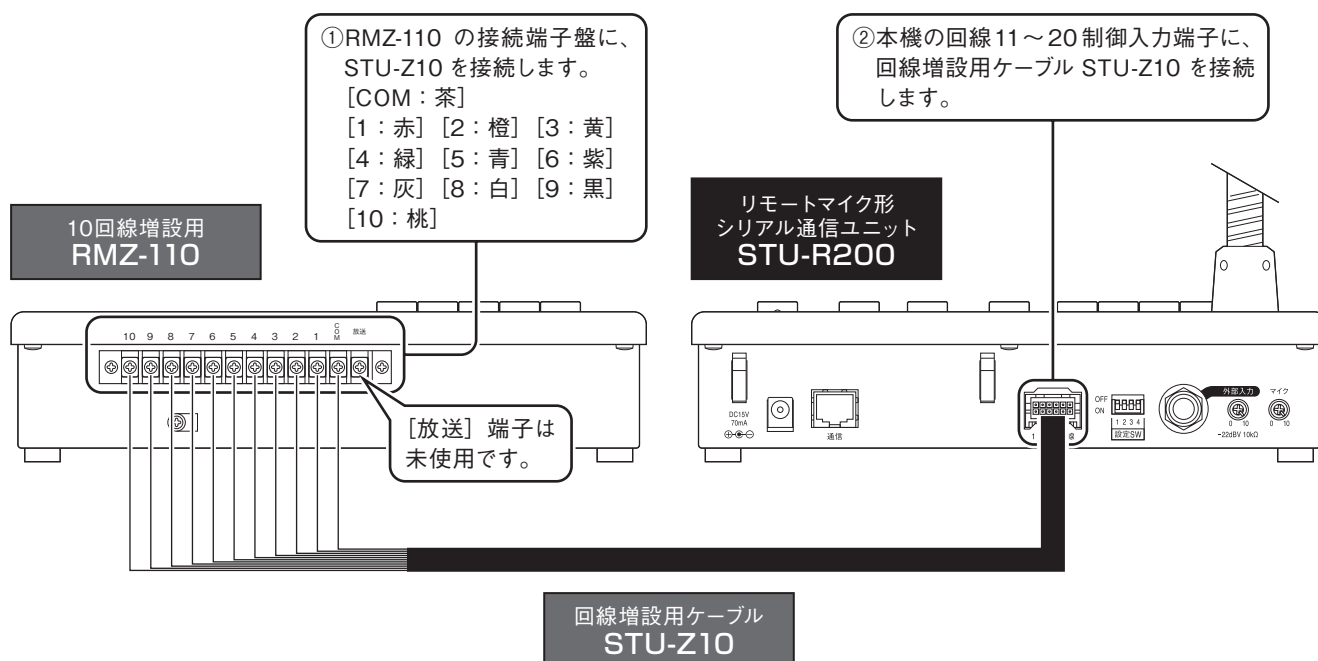
■ 接続方法

- 本機とマスターユニットの通信端子を、LAN ケーブル（別売）で接続してください。



回線数の増設のしかた

- 回線増設用ケーブル STU-Z10（別売）と、増設用 RMZ-110（別売）を使用することで、10 回線の増設ができます（合計 20 回線）。



壁面への取り付けのしかた（壁面取付金具AK-01を使用）

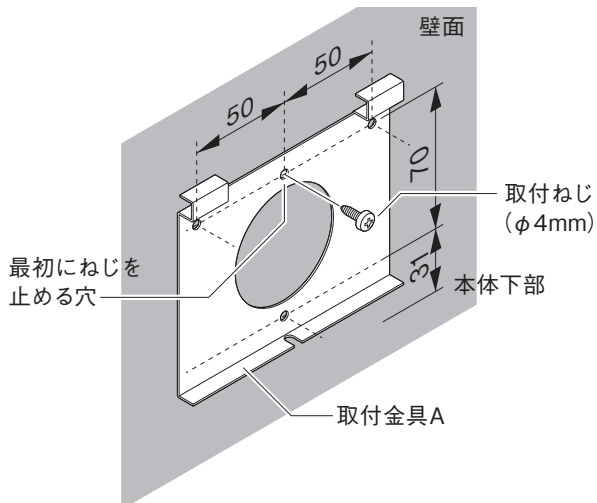
●本機を壁に掛けて設置される場合は、壁面取付金具 AK-01（別売）を使用し、次の要領で取り付けてください。

メモ

- コンクリート壁に取り付ける時はアンカーボルトを使用し、板壁に取り付けるときは木ねじを使用します。
- 取付ねじは現地調達です。

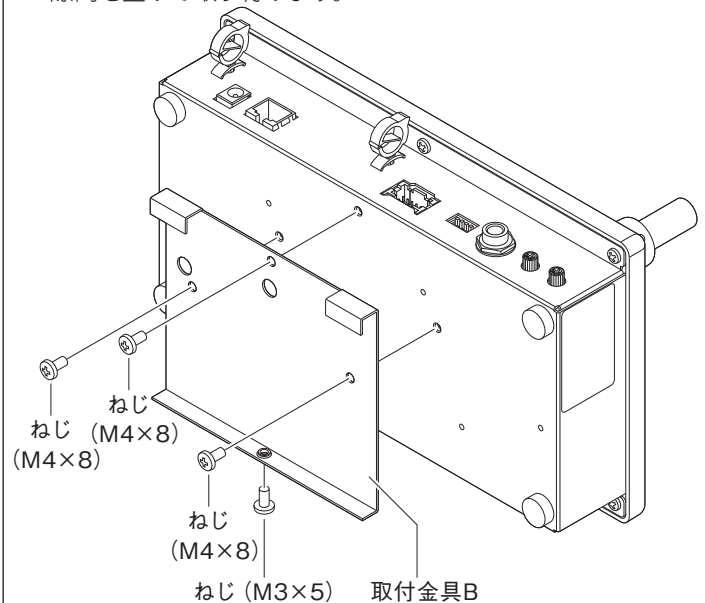
1. 取付金具Aを壁面に取り付ける。

- ①取付金具Aを、取り付ける壁面に、図の方向に合わせてあてます。
- ②上部3カ所の穴の中央部にのみ、取付ねじ（ $\phi 4\text{mm}$ ）を仮止め（取付金具が左右に回転できる状態）します。
- ③傾きが無いように調節し、再びその取付ねじを締め付け、残り3ヶ所の穴もねじでしっかりと固定します。



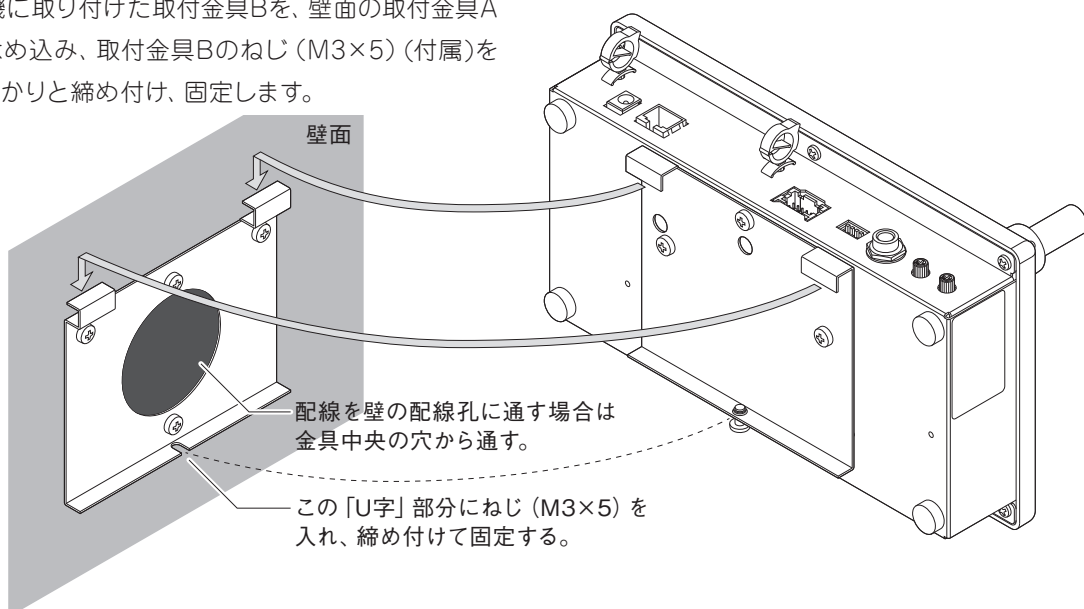
2. 取付金具Bを本機に取り付ける。

- ①ねじ（M4×8）（付属）で、取付金具Bを本機の底面に取り付けます。
- ②ねじ（M3×5）（付属）を、取付金具Bの下部に少し隙間を空けて取り付けます。



3. 取付金具Aと取付金具Bを固定する。

- ①本機の配線を行います。
- ②本機に取り付けた取付金具Bを、壁面の取付金具Aにはめ込み、取付金具Bのねじ（M3×5）（付属）をしっかりと締め付け、固定します。



点検方法

故障かな?と思ったときは、次の要領で点検してみてください。



警告

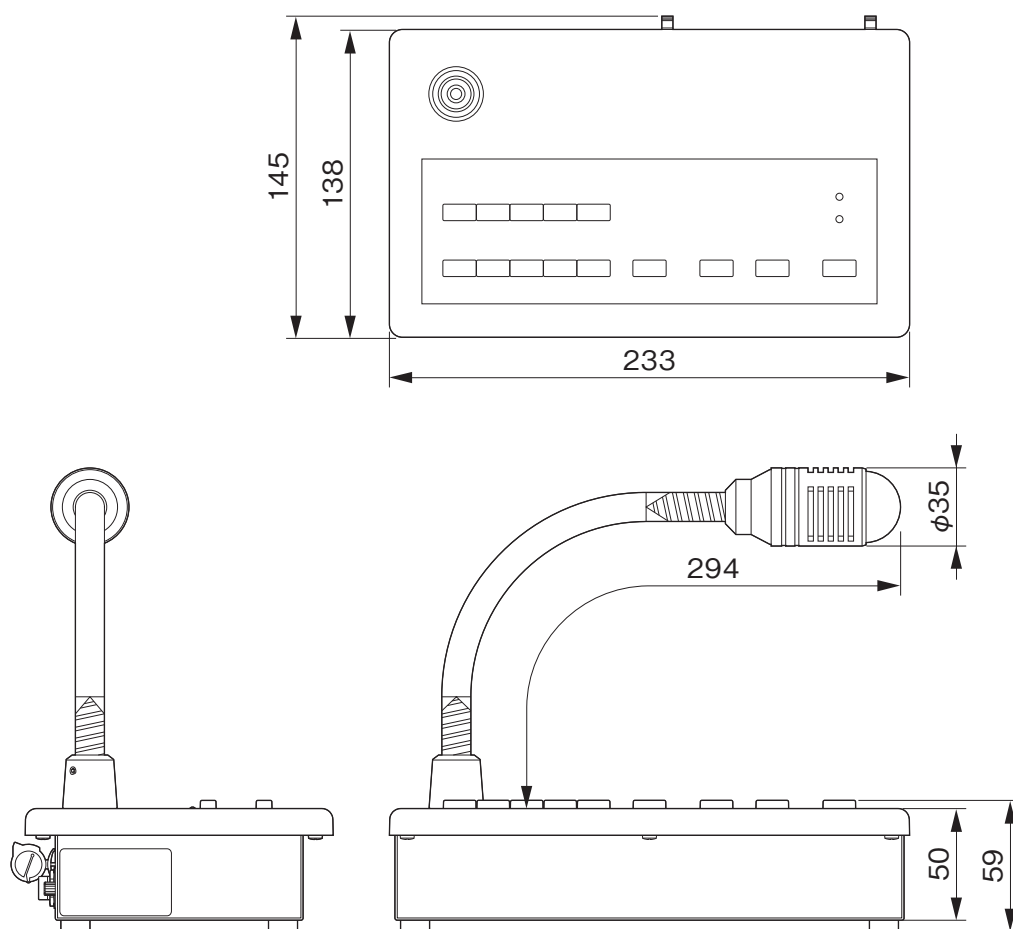
- 次の方法で点検されても正常に動作しないとき、または使用中に急に異常が発生したときは、LANケーブルを抜いてください（ACアダプター使用時は、ACアダプターも）。
煙などの異常が無いことを確認し、販売店などへご連絡ください。
- 本機は絶対に分解しないでください。感電の恐れがあります。修理は必ず販売店などに
ご依頼ください。

症 状	点 検 項 目	対 策
電源／他リモートマイク 使用中表示灯が点灯しない （電源が入らない）。 ※マスターユニットから 電源供給している場合。	本機とマスターユニットは正しく接続されていますか。	正しく接続されていること、断線等が発生していないことを確認してください。
	本機とマスターユニットを接続するケーブルは、適合品ですか。	14頁「マスターユニットとの接続のしかた」をご覧ください。
	電源供給可能な配線距離を超えていませんか。	
電源／他リモートマイク 使用中表示灯が点滅（赤） している。	本機とマスターユニットは正しく接続されていますか。	正しく接続されていること、断線等が発生していないことを確認してください。
	本機とマスターユニットを接続するケーブルは、適合品ですか。	14頁「マスターユニットとの接続のしかた」をご覧ください。
	接続距離が、配線可能な最長距離を超えていませんか。	
	マスターユニットのリモートマイク台数設定と、接続するリモートマイクの数是一致的していますか。	11頁「ID設定」、およびマスターユニットの取扱説明書をご覧ください。
	本機のID設定は、マスターユニットのリモートマイク台数設定に応じて設定されていますか。	
	リモートマイクを複数台使用している場合は、各機のIDが重複していませんか。	
放送できない。	電源／他リモートマイク操作中表示灯が点滅（緑）していませんか。	本機より優先順位の高いリモートマイクが放送中です。表示灯が消灯してから放送してください。 10頁「優先順位の設定」をご覧ください。
	本機のマイクや外部入力用の音量つまみが最小になっていませんか。	音量調節つまみで適切な音量にしてください。 7頁「各部の名称と説明」をご覧ください。
放送中に他のリモートマイクの放送へ切り換わる。	他のリモートマイクが回線を選択していませんか。	機器の優先設定によっては、放送中に他のリモートマイクが回線選択を行うと、放送が切り換わります。詳細は12、13頁「複数台接続時の放送について」をご覧ください。
	停電が発生しませんでしたか。	停電によりシステムの電源が落ちると、各リモートマイクの放送の優先状態がリセットされます。再度回線選択を行い、放送を行ってください。
音が途切れた。	停電が発生しませんでしたか。	停電によりシステムの電源電圧が落ちた場合、音が途切れる場合があります。 なお、停電補償を行っている場合でも、非常電源への切り換わり時に音が途切れる場合があります。
ノイズが発生する。	マスターユニットとの接続距離が長い。	マスターユニットとの接続距離が長くなると、ノイズの影響を受けやすくなります。本機をマスターユニットからの給電で駆動している場合、ACアダプター駆動に切り換えることで、ノイズが軽減される場合があります。14頁「適合ケーブルと配線距離」をご覧ください。
	機器や配線経路上にノイズ発生の原因となる機器が存在する。	ノイズ発生の原因となる機器には近づけないでください。

定 格

電 源 電 圧	STU-E200供給時（通信端子より供給）：DC 24V ACアダプター供給時（AC100V 50/60Hz）：DC 15V	
消 費 電 流	STU-E200供給時（通信端子より供給）：50mA以下（DC24V） ACアダプター供給時（AC100V 50/60Hz）：70mA以下（DC15V）	
周 波 数 特 性	70Hz～10kHz	
正 面 感 度 レ ベ ル	0dB（0dB=1V/Pa at 1kHz）	
ア ン プ 部	定 格 出 力	0dBV±3dB 600Ω平衡
	入 力 感 度	外部入力：-22dBV±3dB 10kΩ 不平衡
	ひ ず み 率	0.5%以下
	周波数特性	外部入力：100Hz～15kHz（偏差：±3dB）
	S / N 比	65dB以上
使 用 温 度 範 囲	-10～50℃	
回 線 制 御	10局＋斉	
回 線 拡 張 制 御 （RMZ-110用端子）	10局	
チャイム制御	チャイム上り（A）スイッチ チャイム下り（B）スイッチ	
使用可能LANケーブル	CAT5e以上 ストレートタイプ	
外 装	本体シャーシ（銅板）：マンセル5Y8/0.5 近似色ライトグレー パネル（ABS樹脂）：マンセル5Y8/0.5 近似色ライトグレー	
寸 法	幅233mm 高さ59mm 奥行138mm マイク長さ：約294mm	
質 量	約1.2kg	
付 属 品	取扱説明書（保証書付）1、ACアダプター 1	
適 合 品	シリアル通信ユニット STU-E200、壁面取付金具 AK-01、増設用 RMZ-110、回線増設用ケーブル STU-Z10	

外觀寸法図 (単位: mm)



サポートのご案内

■ 修理・お取扱い・お手入れについてのご相談・ご依頼は、お買い上げの販売店にお申し付けください。
販売店に修理を依頼する場合は、下記の項目をお確かめください。

①品 名 ②品 番 ③お買い上げ日 ④故障の状況（できるだけ具体的にお願いします）

■ 販売店がご不明な場合は、最寄りの弊社営業所にお問い合わせください。

営業所情報はホームページ
もしくはQRコードにアクセス
してください。
<http://www.unipex.co.jp>



■ その他ご不明な点は、お客様ご相談センターへご相談ください。

UNI-PEX 0120-56-5245 （通話料無料）

お客様ご相談センター 受付時間／9:00～17:00（土・日・祝日除く）
PHS・携帯電話からのご利用は、
072-855-3334（通話料がかかります）

【お客様の個人情報のお取り扱いについて】
お客様ご相談センターにおけるお客様の個人情報は、
ご相談対応、修理およびその確認に使用いたします。
個人情報は適切に管理し、正当な理由がある場合を
除き、第三者に提供または開示いたしません。

リモートマイク形 シリアル通信ユニット STU-R200 保証書

製造 番号			
保証 期間	お買い上げ日 年 月 日より 電子回路部1ヶ年、ケース(外装部) 6ヶ月		
お 客 様	お名前 見 本 様 ご住所 〒 電話() -		
販 売 店	店名・住所 印 電話() -		

保証規定

この保証書は日本国内においてのみ有効です。この保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
(This warranty is valid only in Japan)

無料修理保証の範囲

- ①保証期間内において、取扱説明書などに従った正常な使用状態において故障した場合に無料で修理いたします。
- ②修理の際は必ず保証書の提示があること。
- ③当保証書の所定項目に必要事項が記入され、故意に字句を訂正していないこと。

無料修理保証の免責範囲

- （次のような場合は保証期間内でも有料修理となります。）
- ①使用上の誤り及びお取扱いの乱用などによる故障、磨耗。
 - ②不当な修理改造による故障、損傷。
 - ③正常なご使用でも、消耗部品の自然消耗、磨耗、劣化によるもの。
 - ④お買い上げ後の落下、傷など、お取り扱い上起因するもの。
 - ⑤火災、水害、落雷、地震、その他の天災によるもの。また塩害、有毒ガス、異常電圧などが原因の損傷。
 - ⑥故障の原因が本製品以外の機器の影響によるもの。
 - ⑦常識的に正常な動作状態であるにもかかわらず、修理または部品交換などの要求をされる場合。

製造元 **日本電音株式会社**
発売元 **ユニペックス株式会社**